第463回（定例）福崎町議会会議録

平成27年9月8日（火）
午前9時30分開会

1. 平成27年9月8日、第463回（定例）福崎町議会は、福崎町役場に招集された。

1. 出席議員 13名

1番	宮内富夫	8番	木村いづみ
2番		9番	石野光市
3番	牛尾雅一	10番	小林博
4番	志水正幸	11番	富田昭市
5番	松岡秀人	12番	釜坂道弘
6番	城谷英之	13番	高井國年
7番	北山孝彦	14番	難波靖通

1. 欠席議員（なし）

1. 事務局より出席した職員

事務局 局長 大塚謙一 主査 佐野允保

1. 説明のため出席した職員

町長	嶋田正義	副町長	
教育長	高寄十郎	技監	松尾成史
会計管理者	萩原昌美	総務課長	尾崎吉晴
企画財政課長	福永聡	税務課長	尾崎俊也
地域振興課長	近藤博之	住民生活課長	谷岡周和
健康福祉課長	三木雅人	農林振興課長	松岡伸泰
まちづくり課長	豊國明仁	上下水道課長	松田清彦
社会教育課長	山下健介	学校教育課長	山本欽也

代表監査委員 高寄辰則

1. 議事日程

- 第1 閉会中の所管事務調査報告
- 第2 質疑
- 第3 討論・採決
- 第4 特別委員会の設置
- 第5 委員会付託

1. 本日の会議に付した事件

- 第1 閉会中の所管事務調査報告
- 第2 質疑
- 第3 討論・採決
- 第4 特別委員会の設置
- 第5 委員会付託

1. 開会及び開議

議 長 皆さん、おはようございます。
ただいまから本日の会議を開きます。
ただいまの出席議員数は13名でございます。
定足数に達しております。
それでは、これより本日の日程に入ります。

日程第1 閉会中の所管事務調査報告

議 長 日程第1は、閉会中の所管事務調査報告であります。
各委員会の活動について、委員長に報告を求めます。
総務文教常任委員会、志水委員長。

志水総務文教 皆さん、おはようございます。

常任委員長 総務文教常任委員会から議会閉会中の委員会活動について報告をいたします。
6月の定例議会終了後に委員会、7月27日と8月21日の2日間開催をいたしました。

この委員会で担当課から報告を受け、委員会として所管事務の調査を行いました。

調査結果の報告につきましては、配付されております委員会調査報告書のとおりであります。委員からの質問、そして当局の答弁の中で特に補足すべき事項について簡単に報告をいたします。

最初に、7月27日の委員会の補足であります。

総務課から、平成27年度の職員採用試験を9月20日に神戸医療福祉大学で実施し、募集の受付期間は7月24日から7月31日であると報告を受けました。

委員から「一般行政職など多くの職種の年齢制限が昭和60年4月2日生まれ、いわゆる30歳までとなっているのに、土木職のみ年齢が昭和50年、40歳となっているのはなぜか」との質問に、「募集人員が集まらないことから、対象年齢を引き上げた」との答弁がありました。

次に、6月19日に本町と県民センターとの意見交換があり、本町からは駅前周辺整備等の社会資本総合整備計画の推進、道路整備、防災・減災対策など4項目を提案し、県民センターからは地域創生の推進、地域防災力の充実・強化など、3項目の提案があり、活発な意見交換がされたとの報告がありました。

次に、企画財政課から、有限会社溝内電工が水道管と井戸水の配管を直接つなぐ工事を行い、水道法施行令及び本町の規定に違反したことで、7月10日から来年の1月9日までの6カ月間の指名停止処分をしたとの報告がありました。

委員から「井戸水が上水道に入ることはないのか」の質問に対し、「断水のとときは入るおそれがあるが、それ以外のときは上水道は圧力がかかっているため、逆流はない」との答弁がありました。また、「井戸側に個別メーターをつけてあり、井戸水の分も下水料金に反映させている」とのことでありました。

次に、文化センター西側の用地は公共用地と私有地があり、当該用地の取得と処分について、今、関係者と協議中であり、協議が整えば平成28年度当初予算に計上する旨の報告がありました。

次に、ふるさと応援寄附金の4月から7月15日までの状況について報告があり、委員から「記念品として米ともち麦の精麦は人気があるようだが、他の市町村に比べ寄附金が少ないのではないか」との質問に対し、「今後PRを強化し、

記念品を贈るときに福崎町のパンフレットを同封するなど、観光との連携を図り、さらに寄附者をふやしていきたい」旨の答弁がありました。

次に、税務課から、27年度の町税等の賦課状況及び債権管理条例に基づく徴収計画の報告があり、委員から「介護保険の個人負担金が8月から見直しされる。どのように見直しされるのか」といった質問に対し、「所得の多い方の個人負担が1割から2割負担に改正され、また、介護保険での部屋代、食事代の補助も変更されることとなります」との答弁がございました。

次に、学校教育課から、26年度の給食費と保育料について、及び27年度のこれらの徴収計画について、報告がありました。また、認定こども園の1号認定の園児の牛乳提供方法をパックからカップに変更し、200ミリリットルから150ミリリットルに減量、したがって給食費も3,000円から2,800円にするとの報告を受け、委員から「昨年、野菜等が高騰したが、追加徴収がなかった。園児への栄養量はきちんととれたのか」との質問に対し、「必要な栄養量は確保できています」との答弁でありました。

次に、7月27日の委員会の補足であります。

総務課から、本年度の公務員の給与等の人事院勧告がなされ、民間との給与格差0.36%とボーナス0.1%を引き上げる勧告がされたとの説明がありました。

委員から「人事院は民間企業を対象に調査しているが、大企業と中小企業は給与の格差がある。どのように調査しているか」との質問に対し、「従前は100人以上の企業が調査対象でありましたが、今は50人以上の企業が対象となっており、この人事院勧告は国の調査であります。県とか政令指定都市は独自で調査しておりますが、一般の市町村は人事院勧告に沿って給与改定を実施します」との報告がありました。

次に、企画財政課から、マイナンバー制度の導入により、セキュリティの強化と情報の漏洩を防止するために、個人番号事務で使用する基幹系ネットワークとネットで接続している情報系ネットワークの接続を分離するように国から要請を受け、今現在検討しているとの報告がありました。

委員から「今の住民基本カードを廃止するのか」との質問に対し、「現在の住基カードはそのまま使えるが、マイナンバーカードをつくられる場合には返納していただくことになる」とのことでありました。また、物理的に分離する場合であっても、3つの対応策があることから、さらに詳細なる資料を提出するよう指示をいたしました。

次に、出納室から、27年度7月末の現在の歳入歳出計算書により説明があり、委員から「9,110万円の町債と歳入歳出差引額の約9億7,000万円の管理について」の質問があり、「町債は文化ゾーン東側駐車場用地を土地開発公社から買い戻した分の起債であります。また、歳入歳出の差額の約9億7,000万円のうち、6億円を1カ月の定期預金として管理している」との答弁がありました。

次に、学校教育課から、認定こども園の1号認定の28年度の保育料案が示され、その負担額は応能負担に変更することで大幅に負担額が増加することから、国が示す利用者負担額の約2分の1程度に低く設定し、5年をかけて段階的に引き上げていくとの答弁がありました。

次に、田原小学校体育館建設に係る附帯工事として、県の条例により、校庭は6%、校庭外は20%の緑化が必要となり、新たに1,000平米程度の緑地を整備するとの報告がありました。

委員から「他の学校はどうなるのか」との質問に対し、「市街化区域のみ対象で、福崎小学校が該当します。建設当時はこの条例がありませんでしたが、今後改築あるいは増築があれば、この条例が適用されることとなります」。

また、高岡小学校のトイレの洋式化の工事と八千種幼稚園の渡り廊下の雨対策工事について報告がありました。

次に、社会教育課から、柳田國男検定について、多くの受験者があり、ことしは初級編が2回目で、中級編が初めて実施されたとの報告があり、また、男女参画基本計画策定の経過が報告され、本年度末に計画を策定するとの答弁がありました。

以上、総務文教常任委員会からの報告を終わります。

議長 長 次、民生まちづくり常任委員会から城谷委員長、報告をお願いします。

城谷民生まちづくり 民生まちづくり常任委員会から、議会閉会中の委員会活動について、報告させていただきます。

6月定例会以降、7月29日と8月25日に民生まちづくり常任委員会を開催し、担当課から報告を受け、委員会として所管事務の調査をいたしました。

調査の結果につきましては、配付しております委員会調査報告書のとおりであります。調査の過程において論議されました事項について、概要をご報告申し上げます。

まず、7月29日の委員会について、報告をいたします。

この委員会では、公害防止協定を締結している企業が公共下水道接続工事を行った際の水質管理について質疑がありました。

委員から「公共下水道接続後も工場での一次処理が適正にされているのか。また、公共下水に排水する水質を、町として継続的に管理しているのか」について、質疑がありました。担当課長から「企業から水質について報告を提出してもらい、確認する」との答弁がありました。

また、嶋田町長から「公共下水道に接続した後も、これまでと同様に検査をし、水質管理を行っていく」との答弁がありました。

また、巡回バスについて、定時定路線に変更した後も利用者がふえている件について、「住民の福祉サービスのため、郊外便の川東便も定時定路線に変更できないか」との質疑があり、「検討してほしい」との意見がありました。

次に、7月16日から17日にかけての台風11号への対応について、報告を受けました。

7月29日の委員会では、8件の公害防止協定に基づく申請がありましたが、全ての協議事項について全員賛成で可決いたしました。

次に、8月25日の委員会について、報告をいたします。

くれさかクリーンセンターへの持ち込みごみの手数料について、生活系ごみと事業系ごみの判断が困難、また、個人で行う家屋解体廃棄物の定義が不明確等の理由で、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、埋立ごみ、剪定ごみについて、10キロ100円の料金を徴収する方向で検討しているとの報告がありました。

次に、工業団地内の企業から、公共下水道への接続が始まっている件について、委員から「全ての工業団地内の企業が公共下水に接続した場合、浄化センターの処理は大丈夫なのか」との質疑に対し、現在の稼働率は約50%であり、全ての工業団地内の企業が公共下水に接続しても対応できる」との答弁がありました。

次に、第1老人デイサービスセンターの空調換気設備の更新工事費用を福崎町社会福祉協議会が負担している件について、委員会から「同じ指定管理をしているもちむぎ食品センターや文珠荘の空調設備の修繕は町が負担している。ボラン

ティアや福祉政策で取り組んでいる社会福祉協議会だけが費用を負担することに疑問を感じる」との意見に対し、「社会福祉協議会と協議を重ねた結果、社会福祉協議会が負担する結果となった」との答弁がありました。次回の委員会に社会福祉協議会理事会の議事録を提出し、検討することに決定いたしました。

あと6件の公害防止協定に基づく申請がありましたが、全ての協議事項について全員賛成で可決いたしました。

以上で、民生まちづくり常任委員会の報告を終わります。

議長 次、議会広報常任委員会から、牛尾委員長、報告をお願いします。

牛尾議会広報 議会広報常任委員会より、閉会中の活動報告をさせていただきます。

常任委員長 本委員会は6月24日、7月6日、7月16日、7月28日、7月30日の5回開催をいたしました。

内容は、議会だより第135号の編集で、限られた紙面で審議の経過や結果をわかりやすく住民の方々にお知らせするため、より編集に工夫を加えるべく、7月16日の委員会に中井総合印刷株式会社の社員の方2名にお越しいただきました。よりわかりやすく読みやすい議会だよりとなるよう、紙面レイアウト等について意見交換をいたしました。

また今回、情報公開を促進する観点から、平成26年度政務活動費の収支状況を掲載いたしました。

以上で、議会広報常任委員会からの報告とさせていただきます。

議長 次、議会運営委員会、釜坂委員長お願いをいたします。

釜坂議会 議会運営委員会から、閉会中の委員会活動について、報告をさせていただきます。
運営委員長

6月定例会以降に議会運営委員会を、6月29日、7月24日、8月28日の3回開催をいたしました。

内容については報告書のとおりですが、補足して報告をいたします。

まず、6月29日の委員会では、第462回6月定例会の反省について協議をいたしました。付託され委員会において、追加提出された資料の取り扱いについて、協議をいたしました。全議員に配付するかどうか、継続して協議をすることといたしました。

次に、9月定例会の運営については、決算審査特別委員会を設置し、議長を除く全議員を委員として構成することに決定をいたしました。なお、委員数の増加により、決算審査特別委員会は議場で開催することにいたしました。

みなと銀行福崎支店の福崎駅前地区存置を求める要望書を議長名でみなと銀行宛に提出することについて、協議をいたしました。結果、全員賛成で提出することに決定をいたしました。

次に、福崎町議会議員政治倫理条例素案を公表し、パブリックコメントを実施しましたが、町民からの意見、提案がなかったことから、本条例案を9月定例会に提案することに決定をいたしました。

福崎町会議規則の一部を改正することについて、協議をいたしました。

1点目は、欠席の届け出の取り扱いに関し、女性議員における出産の場合の欠席の届け出について、新たに規定することについて、協議をいたしました。結果、新たに規定することに決定をいたしました。

2点目は、会議規則に議場における携帯品についての定めがありますが、議長の許可無く帽子、外套、襟巻き、つえ、傘、写真機、録音機の類を着用または携帯してはならないとありますが、高齢化社会を迎え、つえを禁止事項から削除することについて協議をし、つえを禁止事項から削除することに決定をいたしまし

た。したがって、会議規則の一部を改正する規則については、9月議会に提案することにいたしました。

議会報告会については、実行委員会より各委員会からの委員の選出条件について報告を受け、計画どおり進めることといたしました。

議会運営委員会の視察研修先を大津市市議会とし、視察テーマはICTの取り組みと大学とのパートナーシップ協定について研修することといたしました。

その他、福崎夏まつりへの参加要請を受け、参加することといたしました。

次に、7月24日の委員会では、平成27年度議会報告会について、実行委員会からの報告のとおり、1回目を11月21日（土）、午後7時からエルデホールイベントホールで、2回目を11月29日（日）、午後1時30分から八千種研修センター多目的ホールで開催することに決定をいたしました。

次に、上野県議会議員との意見交換会の開催について協議をし、8月10日（月）、午後2時から役場第1委員会室で開催することに決定をいたしました。

次に、県議長会から協議の申し出のあった上下水道施設の広域的経営統合については、民生まちづくり常任委員会を中心に協議を行い、議会としては慎重に判断することにいたしました。

次に、福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の議決事項への追加については、継続して協議を行います。

次に、8月28日の委員会では、第463回9月定例会については、報告5件、議案19件、請願1件の計25件を上程予定との報告を受けました。また、会期については、協議の結果9月4日（金）から、29日（火）までの26日間とし、一般質問は9月25日（金）、28日（月）とすることに決定をいたしました。

なお、一般質問が7人以下の場合は、9月28日（月）を休会とすることを確認をいたしました。

次に、決算認定については、決算審査特別委員会を設置し、一般会計、特別会計及び企業会計の全会計を付託し、審査を行うこととし、同時に決算審査特別委員会の委員は議長と議会選出監査委員を除く全議員を委員とすることに決定をいたしました。

次に、第463回定例会に福崎町議会議員政治倫理条例の制定についてと、福崎町会議規則の一部を改正する規則についての2議案を、議会発議議案として提案することに決定をいたしました。

請願1件と陳情1件の取り扱いについて協議をいたしました。結果、請願については民生まちづくり常任委員会に付託をし、陳情については議場配付することと決定をいたしました。

議員派遣については、提案のとおり派遣することとしました。

議会運営委員会の視察研修については、前回提案のあった大津市議会を進めることといたしました。

議会報告会の実施については、今後のスケジュールを検討し、確認をいたしました。

全員協議会の開催と協議事項について報告を受け、確認をいたしました。

上下水道施設の広域的経営統合に関しては、民生まちづくり常任委員会での協議の結果を受け、福崎町議会として賛同しがたいという方向を確認いたしました。

福崎町子ども議会の開催について協議をいたしました。町制施行60周年記念事業として実施する方向で、今後検討していくことにいたしました。

以上、議会運営委員会からの閉会中の活動報告とさせていただきます。

議長 次、福崎駅周辺整備対策特別委員会から、小林委員長、お願いをいたします。

小林福崎駅周辺整備 福崎駅周辺整備対策特別委員会からの報告でございます。

対策特別委員長 全議員で構成している委員会でございます。ご承知のとおりであり、報告書のとおりでございます。

7月24日に木津川市に視察にまいりまして、木津川市の木津駅の整備についての視察を行いました。

木津川市では、土地区画整理事業に合わせて、交通ターミナル機能の整備により、中心市街地の顔としての木津駅周辺整備が進められております。駅舎の橋上化、自由通路の整備、駅前広場の整備、防災機能等を取り入れた駅前公園の整備等の状況について、視察を行いました。

本町で進める駅周辺整備についても、地域住民の利便に重きを置いた、地域に根差した駅前周辺整備の必要性、あるいは、周辺の交通網の交差点等の改良により渋滞解消等が進んでおり、福崎町においても県道甘地福崎線の拡幅及び駅前交通広場の整備計画等がありますが、これらの計画をしっかりと進めることで、福崎駅前をよりよい形にしていきたいものだというふう感じたところでございます。

また、8月10日に委員会を開催いたしまして、駅前周辺整備事業の進捗状況について、報告を受けました。

用地の取得状況につきましては、8月7日現在、約30%の契約状況ということでございます。

また、工事の進捗状況についても、代替地の工事については完了し、そうして駅前広場の仮設工事についても着手をしたところでございます。

また、県道甘地福崎線の北工区の整備計画についても、兵庫県が取り組みを始めていただいて、平成29年から5カ年間で湯口踏切から山崎までの間、320メートルを整備したいとの報告を聞いたところでございます。

これらが順調に進むように願っておるところであります。

また、商工会に駅前活性化の委員会が設置をされ、検討が進められておる点、あるいはみなと銀行の駅前残留の要望等についても、これからも見守ってまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

議長 以上で、各委員会からの閉会中の所管事務調査の報告を終わります。

日程第2 質疑

議長 日程第2は、議案に対する質疑であります。

議案番号順に進めてまいりますが、関係する議案は複数で質疑を受ける場合もございますので、あらかじめご了承ください。

なお、議案第55号、議案第71号、発議第3号及び第4号につきましては、本日全ての議案に対する質疑を終了した時点でお諮りして、即決したいと思っておりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

それでは、報告第10号、第26期株式会社もちむぎ食品センター決算報告について、質疑はありませんか。

1 番 一、二点、お尋ねをしたいと思います。

まず、3ページの残高試算表の貸借対照表でございますが、未払金と未払法人税等があります。昨年、369万3,516円、法人税等10万7,904円が持ち越しというんですが、繰り入れになっていたと思っておりますが、ここの数字を見ますと、両方に104円の差があります。これはなぜでしょうか。

地域振興課長 昨年の数値と104円の違いがあるということでございますか。

申しわけございません。確認させていただきたいと思います。

1 番 昨年の残高試算表にはそうになっていたと思いますが、今回の前期繰越ですね、ここにこの数字が違いますというので、104円の差があるんじゃないかと、このように思います。

続きまして、今度は残高試算表の損益計算書、営業収益でございますが、これが391万684円ですか、営業外収益、この明細はどのようになっていますか。

地域振興課長 営業外収益につきましては、受取利息、受取配当金はそのままでございます。雑収入が391万684円ございます。

この内訳につきましては、まず、平成25年度の緊急雇用事業でもちむぎ食品センターに委託した補助金が200万円ございます。

それから、アンテナショップ、東京方面のアンテナショップへの負担金、特産品の普及促進ということで、町から補助金を出して、もちむぎ食品センターが支払っておりますのが57万4,000円ございます。

それから、その他町からのもち麦普及促進に係る補助金として、53万2,000円程度支出をしております。

その他兵庫県の外郭団体からの補助金ですとか、町からの補助金、先ほどの53万2,000円以外の補助金もございます。

それから、役員責任の部分の負担金、10万円もこの雑収入に入れております。主なものはそういったところでございます。

1 番 その役員責任の分なんですけれども、その10万円が以前は特別収益で上がっていたと、このように思いますが、なぜ今年度から営業外収益になるのか、果たしてその勘定科目がどういう理由で変えられたのかというのをお聞きしたいんですが。

地域振興課長 会計事務所等とも相談しました結果、本来その特別利益ですとか特別損失というのは、基本的には上げないという考え方が通常のございます。

最近ですと10万円ずつ年間いただいております。そういった経緯につきましては、金額的にも少額ということで、会計処理としましたら雑収入で受けるケースが多いということもございまして、本年度から振りかえをさせていただいたところでございます。

1 番 専門家がそう言われれば、そのようになるかと、このように思います。

次に、製造原価のところでお聞きをしたいんですけども、去年は賃金が1,992万6,055円で、本年度は2,152万3,055円とこうなっておろうかと思いますが、賃金は159万7,000円ふえておりますが、それに次の法定福利費、これが去年は294万8,968円で、ことしが514万5,873円、製造原価で。219万6,905円ですが、これだけ法定福利費が賃金がふえている以上に法定福利費がふえていると、このような減少はどのようになったのでしょうか。

地域振興課長 会計処理上これが妥当なのかというところになるろうかと思うんですけども、本年度のこの決算におきましては、一般管理費に計上しております社員の部分、これも製造原価のほうで処理をしたということで、こちらのほうに偏った処理になっております。

1 番 一般管理費、それは確かに4万4,000円で少なくなっております。ところがそれを足して、去年は74万8,129円でしたけども、それを入れてもまだ法定福利費が膨らんでいるということで、どのような職員の待遇向上が図られたのか、人がふえたのか、そこらをお聞きしているわけでございます。

地域振興課長 お時間をいただきたいと思います。

1 番 今度は総会のほうでお尋ねをしたいんですけども、総会はいつ開かれたんでしょうか。

地域振興課長 株主総会ということでよろしいですね。7月31日でございます。

1 番 株主総会に提出された計算書、これはどのようなものを提出されているのでしょうか。

地域振興課長 本日添付しておりますこの形のものでございます。

1 番 これ残高試算表ですね、提示されているのは。会社法第438条、これを見ていただきましたら、この残高試算表では総会に提出する計算書とはならないのではないかと、このように私は感じるわけなんですけども、見解はいかがでしょう。

地域振興課長 申しわけございません。438条、手元にございませんですが、あくまでこの残高試算表という表に表題が書いておりますが、あくまでその下に貸借対照表であり損益計算書を記載しております。

会計処理におきましては、会社法であるとか会計計算規則に基づいて書類を作成することになると思います。会計計算規則にそれぞれ定められました勘定科目、それぞれの項目、必要項目はこれに挙げておりますので、これで足りていると判断をしております。

1 番 必要項目が掲載されているのであるから、それでいいというものではないと、このように思います。

ここに決算の計算書類等は貸借対照表、損益計算書、株主資本変動計算書、それと個別注記表と書いてあるわけなんですけども、この資料には残念ながら株主資本変動計算書、これが入ってません。

地域振興課長 ご指摘のところで、株主資本変動計算書につきましては、提出がございませんでした。

本日この議会に対する報告については、そこまで提示する必要はないということで自治法関係の書類にはなっておりますが、株主総会、決算の書類としては、抜けているというのは現実でございます。

1 番 地方自治法第243条の3の第2項ですね。これを議会報告されているのは。最低必要限度の経営状況を報告しなさい、このように書いてあるわけです。

私は、株主資本変動計算書、俗に言う剰余金処分案、これがなければ、私は報告にはならない、このように思いますし、全てのことがこの残高試算表で網羅してあるけども、はっきりと会社法第438条には、貸借対照表とか、損益計算書とか、そういうのが明記されております。これが本来の株主総会に出すべき提出書類ではないかと、このように考えます。

地域振興課長 先ほど申し上げましたように、冒頭に残高試算表という表示はしておりますが、あくまでその下に貸借対照表、損益計算書と表示をしておりますので、これでもって株主の了承も得ているところでございます。

1 番 私はこの書類がいかんと言うんですわ。本来の株主総会にかけるべき計算書ではないでしょうと、こういう見解を今しておりますので、あくまでも課長がそのように言われるんでしたら、私は町民の方にそのように言いますし、当然私たちは町民の負託に応えておりますので、私の意見としましては、これでは株主総会の書類となっていないと、このように申し上げているわけでございます。

地域振興課長 あくまでその損益計算書、貸借対照表として出しておるわけですから、その上に残高試算表、この言葉があるからこれが無効であるということは、私の今見ている範囲では、そういった規定は見当たらないという判断でございます。

1 番 残高試算表というのは、決算の貸借対照表とか損益計算書をつくるまでの1つの

書類であると、こう私は考えるわけでございます。残高試算表をつくったり、棚卸明細書、減価償却表をつくって初めて貸借対照表とか損益計算書ができるのではないかと、私はこのように感じるわけでございます。

地域振興課長 このたびにつきましては、この内容で決算、承認をいただいております。ご指摘の点につきましては、もう少し専門家にも相談をしながら、意見を伺いながら、また次年度に向けては調整はしていきたいと思っております。

1 番 専門家がどう言われるか、わかりませんが、私も違っていることがあるかと思いますが、万が一違っておれば、どうなるのかなと思うわけなんですけども、特にこの株主資本変動計算書、これは株主総会の議決事項かと、このように思うわけなんです。それが抜けているということは、株主総会が今成立したとおっしゃいますが、一部成立してないところがあるのではないかと、このように考えるわけでございます。そこらあたりをよく研究していただきたいと、このように思います。

地域振興課長 ご指摘の点につきましては、再度きちっと確認をいたしまして、不足があれば再度承認をいただくという形で進めたいと思います。

それから、まず未払金と未払法人税等の食い違いでございます。これにつきましては、済みません、休憩いただけますか。

議長 しばらく休憩いたします。

◇

休憩 午前10時15分

再開 午前10時17分

◇

議長 時間がかかるようでございますので、再開いたしまして、正式な休憩に入りたいと思います。

再開は10時35分といたします。

◇

休憩 午前10時17分

再開 午前10時35分

◇

議長 会議を再開いたします。

地域振興課長 宮内議員のご質問に対しまして、2点ございましたが、1つは法定福利費がふえている関係でございます。これは基本的には25期と26期の比較になりますと、7カ月決算と12カ月決算、これで基本的にふえてまいります。ただ、26期につきましては、新しい専務等がふえておる関係もありまして、ふえ方が月割よりも違ってくる、そういったことはございます。

104円につきましては、会計事務所には問い合わせをしておりますので、わかり次第また後ほど答弁させていただきたいと思っております。

議長 ほかにございませんか。

1 1 番 私のほうからは、26期の事業報告に基づいて、お話をさせていただきたいと思っております。

今回は、非常によいことばかりが書き並べてあるわけなんです。非常にこれはいい傾向だと思います。要するに、会社というのは人でもって持っているわけでありまして、会社が利益を得るものではございません。昔からある言葉に、人は石垣、人は城という言葉がありますように、やはりそこで働いている従業員がしっかりと努力をしていくことによって、経営が成り立っていくわけでございまして、今回のこの報告書を読んでいると、その社員とかあるいはパート従業員

の待遇改善に取り組んだということが、まず第1点目に書かれているわけなんです。

中身を見てみますと、パートとか、あるいは臨時の店員さんも非常に多いように見受けられますけども、その待遇改善はどのような改善をされたのか、その辺をお尋ねしたいと思います。

地域振興課長 まず、正社員でございますけれども、こういった経営状況の中で長年全く昇給等もなかったと、ベースアップもなかったという状況の中で、非常に社員のモチベーションが下がっているというところもございました。そういった中で、一定のその営業時間の短縮等にもよりまして、人件費を削減する中で、そういった待遇改善を図ったというところが1つございます。

合わせまして、昔からいる社員というのが、今言いましたように全く給料が上がっていない中で、最近採用する段階で非常に基本給が安いと応募も少ないというところで、若干高くした傾向もございましたので、そういったところも調整をしながら、全体のバランスを見ながら、改善をしてきたというところがございます。

1 1 番 国のほうでも県のほうでも、最低賃金法というのが変わってきまして、やや上がっているわけなんです。それに基づいて、どうしたかわかりませんが、やはり従業員が喜んで働いていくためには、そういうふうな給与面とか、あるいは福祉面をしっかりと充実していれば、そこで自分自身が一生働いて頑張っていくんだという気持ちが芽生えたときには、その会社は未来永劫に発展していくのではないかなという感じがするわけなんです。

そこで、部分的に見てみますと、営業時間も午後5時までとしまして、土日、祝日は午後7時までとしまして、人件費の抑制に取り組んだということを書いておりますけども、やはりこの辺も以前に比べてると若干休日をとって、そしてなおかつ従業員の給与アップとか、改善とかいうことをされたことについては、非常によいというふうに思っているわけでございます。

そして、それに伴いまして、レストラン部門では、25期よりも7,000人も多くの方が入ってきまして、非常にレストランの回転率も上がってきたんだということで、短時間で効率よい営業ができてるんだなというふうに見て感じているわけでございます。

その中で、しっかりと税抜き利益も上がってきておりますし、私はすごいなというふうに思うんです。河童の効果もあろうかと思っておりますけども、それもずっと続くわけではないわけなんです。やはり新しいものを順次取り入れていかないと、瞬間的な経営のアップというのは非常に怖いものがありますので、その点も順次次の段階のものを考えていきながら、やはりそれを経営努力に重ねていくというふうなことも大切ではないかなと思うわけでございます。

そしてその売店部門におきましても、発注のロスの改善を図ったということが書かれているわけでございますけれども、やはりその発注のロスというのは非常に大きなものがあると思うんですけども、例えばどんなことの改善を図ったのか、その辺をお尋ねしたいと思います。

地域振興課長 例えば、菓子類は外注をしております。在庫を大ざっぱに見てみますと、在庫がかなりかさばってくる、そうしたら当然賞味期限がありますので、賞味期限近くになってもまだ商品が残っているというようなところもございますので、そういった在庫をきちっと把握しながら、適正な時期に発注をしていくということで、そういったロスをなくしていく。食材につきましても、当然同じようなことが言えるわけですけども、そういった意味での在庫管理。

それから、麵の生産についても同様でございます。毎日できる量だけどんどんどんどんつくっていても、はける量というのはやはり波がございますので、そういった注文に応じた形でつくっていくということを徹底していったというところでございます。

1 1 番 それと上期におきましては、精麦の不足によりまして、非常に困ったということがあったわけですが、今期におきましてはそういうことのないように、精麦の量はふやしたんですか。

地域振興課長 26期におきましては、26年の6月にとれました麦、約45トンでございましたが、それを粉、また精麦に回しながら取り組みました。しかしながら、全く無制限に出しますと、底をつくんじゃないかということもございまして、若干セーブをしながら販売をしてきたのが26期でございます。

1 1 番 もう1点は、この中で1件当たりの購入単価が高くなっているわけなんですね。25期の場合は5,500円だったものが、26期は6,000円に引き上げることができたというふうになってはいますが、あらゆる努力があつて、いろんなことを考えながら、経営検討委員会のメンバーのほうからもいろんな提言があつて、それをもとにして取り組んできた効果かなというふうに思いますが、やはりこれからそういうふうな努力を惜しまず、そしてさらに従業員の改善を図っていきながら、すばらしいもち麦が全国に発送できるように、努力のほうをよろしく願いしておきます。

以上です。

議 長 ほかにございませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、報告第11号、平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について、質疑はありますか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、報告第12号、議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定め和解すること)について、質疑はありますか。

8 番 こういったケースの公用車とかを使っての事故、これ毎年減っていきよろんでしょうか、件数とか金額とか。それともふえていきよろんでしょうか、お願いします。

総務課長 こういった庁用車の事故、平均月に1件ずつぐらいは起こっていると思っております。

また、自損事故もございまして、自損事故につきましては、こういった議会の報告のケースには当たりませんので、損害賠償について報告をさせていただいているということでございます。

8 番 毎月1件ぐらいって聞いたんですけども、減らす努力というのはされているんでしょうか。

総務課長 職員に対する啓発は随時行っております。こういった事故がある場合も行いますし、また、夏の交通安全運動、秋の交通安全運動などの運動期間も活用しながら、職員には交通安全についての啓発を行っているところでございます。

8 番 今回のケース、職員全員はご存じなのでしょうか。

総務課長 このケースにつきましては、特段周知をしたということにはございません。

8 番 同じ職場内の方にこういう事故があったということをはかの方に知らせることも大事かと思えます。こういった予想もしないような事故ですけども、そういう

ことが二度とないように、ほかの職員にも、随時知らせていくべきだと思いますので、また今後、ご検討よろしくお願ひします。そして、事故件数を減らしていくように努力をしていただきたいと思ひます。

議 長 ほかに質疑はありませんか。
6 番 総務課長にお尋ねをしたいと思ひますが、福崎町の所有車両は一体どのぐらいですか。

総 務 課 長 約60台ございます。
6 番 20台以上所有している事業所については、安全管理者を20名に対して1人置かなければならないという道路交通法で定めてあると思うんですけども、福崎町の場合はどのようになっていますでしょうか。

総 務 課 長 福崎町におきましては、私が交通安全管理者でございます。私のもとに2人の副安全管理者を置いております。それとはまた別に、バスを所有している事業所につきましては、1人置かなければならないという規定もございまして、その分が2人おります。

以上です。

6 番 60台というので3名ということ合っていると思うんですけども、その安全運転管理者というのは、もちろん計画書とか、それから運転日誌、この辺を控えて置いておかなければならないと、それと、安全運転の指導を行わなければならない。そして、年1回の講習を受けなければならないと、このようになっております。

前にもお話しさせていただいたと思うんですけども、やっぱり小さい事故を重ねていけば、必ず大きい事故に当たってしまうんです。だからその辺をもっと、これはもう済まなかったなでは済まへんような、例えば人身事故とか、死亡事故とか、その辺につながると思うんです。安全運転管理者さんには役場の職員皆さんに、安全指導を行っていただきたいと、そのように思ひます。

総 務 課 長 議員のおっしゃるとおりでございます。確かハインリッヒの法則と言うてたと思うんですけども、小さい事故が集まりますと中程度の事故が起こる、中程度の事故が何件が集まりますと大事故につながるというふうなこともなりますので、小さい事故だからといって安心せず、そういった小さな事故もなくしていくということが大事だろうと思ひますので、そういった努力を今後とも続けていきたいと、このように思ひます。

議 長 ほかに質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、報告第13号、議会の委任による専決処分の報告について(川端雨水幹線工事(第2工区))について、質疑はありませんか。

1 2 番 この川端雨水幹線工事の変更契約についての報告ですが、まずこういった工事の中では珍しく減額ということで報告されております。

減額の理由が事業量の減となっておりますが、この報告資料を見せていただくと、工法の変更ということが報告されております。

当然、こういった工事にかかるときには、設計もされ、その設計に基づいて精査もされ、それから入札されたというふう思うんですけども、途中でこの工法が変わるといふ理由は何だったんでしょうか。

上下水道課長 工法の変更についてであります。既設の石積み水路の裏側に通常コンクリートが打設してあるんですけども、その部分が空練りということで、コンクリートがなかったために、取り壊し工から掘削工へ変更を行っております。

なお、その部分につきましては、石積み水路については不可視部分について状況が不明であったため、水路の形状から構造を推測して、当初の設計をしておいたものということでございます。

以上です。

1 2 番 もう1点は、この報告書の上から2行目に平成27年、ことしの3月31日に工事請負変更契約を締結したとありますが、ことしの3月31日に工事請負変更契約ということであれば、本契約はいつだったんでしょうか。

上下水道課長 川端雨水幹線工事の第2工区につきましては、平成26年9月9日に当初の契約を行っております。

1 2 番 そしたら変更契約がこの工事については2回目ということになりますね。

上下水道課長 1回目に平成27年3月31日に工期の変更を行っております、2回目、このたびの変更となっております。

議 長 ほかに質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、報告第14号、議会の委任による専決処分報告について(福崎工業団地下水道面整備工事(第1工区))について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第55号、教育委員会委員の任命について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第56号から議案第63号までの議案は決算認定についての議案であります。

質疑は大綱にとどめ、詳細については決算審査特別委員会をお願いをしたいと思います。

議案第56号、平成26年度福崎町一般会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第57号、平成26年度福崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第58号、平成26年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第59号、平成26年度福崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第60号、平成26年度福崎町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第61号、平成26年度福崎町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第62号、平成26年度福崎町水道事業会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第63号、平成26年度福崎町工業用水道事業会計歳入歳出決算認定について、質疑はありませんか。

1 0 番 この件についてということではないのですが、決算全体を通して監査委員さんの報告についてお伺いをおきたいと思うのですが、1つは一般会計、特別会計合わせての不納欠損総額が9,000万円を超えておることについて所見が述べられております。この額が適正だというふうに判断をされたと思うのですが、もう少しこの徴収努力がどうであったのか、今年度この不納欠損額が一般会計、特別会計を通じて非常に大きいものですから、その点についての監査委員さんの所見を改めてお伺いしたいと思います。

もう1点は、繰出金について、特別会計については独立採算制が必要であり、法定のものを除いては一般会計からの繰り出しはできるだけ控えるようにというふうな趣旨をとれることがあります。福崎町は国民健康保険にしても、あるいは農業集落排水や公共下水、水道にしても、町の施策として事業を進めていくために、一般会計からの法定外の投入もされております。

これは、町民の健康を守るための健康保険という欠かすことのできない町の事業であり、あるいは下水にしても水道にしても、なくてはならない町民の生活の基盤となるものであります。

それらの整備のために、町民の暮らし等を考えて必要な一般会計からの投入を、私はしなきゃならんというふうに思っておるわけです。

今回の出納室からの報告文書でも、アベノミクス効果は個人には及んでいないという、個人町民税は減少しているという、そういう報告になっておるような、全体としてそういう状況でありますから、もろもろ考えて、そのように思うわけでありませう。

特にこの繰出金等については、具体的にどの会計のどの部分については不相当だというふうな、そんな思いがあるのか。あるいは一般論として述べられておるのか、お聞かせをいただきたいというふうに思います。

以上です。

代表監査委員 まず初めの不納欠損についてでございます。不納欠損につきましても、決算審査の中、それからこれまでも時効を迎えて、落とせるかどうかというところについて正確な情報も持っていないというようなことを聞いてまいりました。

債権管理条例の施行とそれに合わせて、今回その不納欠損処理をされたということだと思っております。

これは債権管理の事務というものを軽減したという意味ではいいんですが、この意見書にも書いておりますように、不納欠損は本来徴収すべきものをこの不納欠損の理由によりまして、徴収しないと、債権を放棄するということになりますので、それには慎重な態度が必要だというように述べております。

2点目の繰出金のことでございますが、繰出金については、ここにも書いておりますように基本的には特別会計である限り法的な負担以外は受益者負担でとい

うのが一般的な原則です。これにつきまして、今回は記述としてあげておりませんが、繰出金の法定のルール分以外を、それは誤っているということはこれまでも申し述べたことはございません。今回も記述については同じこととさせていただきます。ただ、一般的なルールからいきますと、法定外というのは町民理解が必要ですよということとさせていただきます。小林議員からも昨年そのようなこととご質問いただいたかと思えます。これにつきましては、町民の理解を得ることと、本来あるべき姿に見直すということが必要ではないですかというのを監査委員の意見として入れておるところでございます。

以上でございます。

1 0 番 それでは、具体的にどの事業についてどうという、そういうものではないということですね。

代表監査委員 この記述としてあげておりますのは、一応、国民健康保険会計がルール外のものを出しておるという前提で考えてはおります。ただ、申し上げましたように一般的な話でありますし、議会のほうでも、それから町のほうでもそれぞれ議決をいただいてされておることですので、監査委員とし特にそれが間違っているとかいうようなこと何ら申し上げることはありません。

ただ、見直す対象としてはあるんですよということを申し上げようとしているだけでございます。

以上でございます。

1 0 番 特に国民健康保険については、所得ゼロでも税金がかかり、そしてもう圧倒的多数の人たちが年間所得100万円未満というふうなもので構成されておるのが国民健康保険でありますから、そういう意味から、福崎町が非常に努力をしておるとい、そういう側面もよく考えていただければというふうに思っておるところでございます。

それから、先ほど来の報告案件にもありましたけれども、工事の関係がこのところ非常にたくさんの事業をやっております。入札のあり方、それから変更契約も非常に多くなっていっております。それから年度にまたがってやっておる事業もたくさんあります。そういう面での現場での工事監理、あるいはその変更、あるいは繰り越し等のその工事監理についての現場面、あるいは帳簿面等での監査は特に報告文書では触れられていないのですが、その点についてはどうでしょうか。

代表監査委員 今お話のございましたのは定期監査ないしは例月の出納検査の中で支出としてあがっている場合に、その中から5件ないし10件の抽出を行いましてやっておる監査がでございます。そこで見ておるといのが実情でございます。決算審査につきましては、特にそのそれぞれの調書についての内容は概括的にしか伺っておりませんので、ここには記述としてあえてあげておりません。

以上でございます。

議長 ほかに質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第64号、平成26年度福崎町水道事業剰余金処分について、質疑がございましたらお願いをいたします。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第65号、福崎町個人情報保護条例の一部を改正する条例について、質疑はありませんか。

1 2 番 このたびこの個人情報保護条例の改正ということで、意図はよくわかります。マイナンバー制度の導入によって、個人番号を含んだ情報、いわゆる特定個人情報については従来の個人情報よりも厳格に取り扱わないかということ、この条例が改正されるものと思いますが、この条例が改正された後、1番身近な例で言いましたら、どういったところが違ってきますか。

総務課長 どこが違うかということなんですけれども、この資料の1ページにもつけておるんですけれども、今までは個人情報という概念でございました。その中にこの番号法が制定されて、特定個人情報ということで、個人番号をその内容に含む個人情報という概念ができてまいりました。

それから、情報ネットワークシステムを利用した情報提供等の記録といったこの3つの概念ができてまいりまして、この個人情報については、目的外利用というものは原則的には禁止をされております。ただ、法令に基づく場合や本人同意がある場合は目的外利用を認めているものでございます。

次、特定個人情報なんですけれども、この特定個人情報は人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意があり、または本人の同意を得ることが困難であるときのみ目的外利用ができるということになっておりまして、個人情報に比べて目的外利用の制限が非常に厳しくなっております。

次に、情報提供等記録なんですけれども、これにつきましては特定個人情報で可能であった人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意があり、または本人の同意を得ることが困難であるときでも利用ができません。目的外利用は一切禁止ということになっております。こういった点が1番条例改正の大きな中身かなというふうに思っております。

1 2 番 それは理解できるんですけれども、実際そうしたら我々に、その身近なところで言いましたら、例えばどういった例がありますか。

総務課長 例えば、どんなときにマイナンバーを使うかということになるかと思いますが、毎年6月の児童手当の現況届の際に、市町村にマイナンバーを提示するというようなことになってまいります。

また、厚生年金の裁定請求の際にも年金事務所にマイナンバーを提示する必要があるというようなこと、また、役場も1つの事業所でございますので、勤務先、町であれば人事係なんですけれども、そこにもマイナンバーを提示して、源泉徴収票や給与支払報告書に記載するといったことが出てまいります。

議長 ほかには質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第66号、福崎町手数料条例の一部を改正する条例について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第67号、平成27年度福崎町一般会計補正予算(第2号)について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

次に、議案第68号、平成27年度福崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について、質疑はありませんか。

(「ありません」の声あり)

- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
次に、議案第69号、平成27年度福崎町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
次に、議案第70号、平成27年度福崎町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について、質疑はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
次に、議案第71号、工事請負契約について（香福橋橋梁補修工事）について、質疑はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
次に、発議第3号、福崎町議会議員政治倫理条例の制定について、質疑はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
次に、発議第4号、福崎町議会会議規則の一部を改正する規則について、質疑はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
次に、請願第2号、「ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準の緩和を求める意見書」の提出を求める請願について、質疑はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。
以上をもって、本定例会に付議されました全ての報告、議案、発議及び請願に対する質疑を終結いたします。

日程第3 討論・採決

- 議 長 日程第3は、討論・採決でございます。
この際、お諮りをいたします。
議案第55号、議案第71号、発議第3号及び発議第4号については、委員会負託を省略し、本会議において、ただいまから即決したいと思いますが、異議ございませんか。
（「異議なし」の声あり）
- 議 長 異議なしと認めます。
よって、議案第55号、議案第71号、発議第3号及び発議第4号については、本会議において即決することに決定をいたしました。
それでは、討論・採決を行います。
議案第55号、教育委員会委員の任命について、討論を行います。
討論はありませんか。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 討論なしと認めます。
これから、採決を行います。

議案第 5 5 号、教育委員会委員の任命について、原案のとおり同意することに賛成の方は起立をお願いいたします。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第 5 5 号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次、議案第 7 1 号、工事請負契約について（香福橋橋梁補修工事）について、討論を行います。

討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これから、採決を行います。

議案第 7 1 号、工事請負契約について（香福橋橋梁補修工事）について、原案のとおり可決することに賛成の方は起立をお願いいたします。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、議案第 7 1 号については、原案のとおり可決することに決定をいたしました。

次、発議第 3 号、福崎町議会議員政治倫理条例の制定について、討論を行います。

討論はありませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これから、採決を行います。

発議第 3 号、福崎町議会議員政治倫理条例の制定について、原案のとおり可決することに賛成の方は起立をお願いいたします。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、発議第 3 号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

次、発議第 4 号、福崎町議会会議規則の一部を改正する規則について、討論をお願いいたします。

(「ありません」の声あり)

議 長 討論なしと認めます。

これから、採決を行います。

発議第 4 号、福崎町議会会議規則の一部を改正する規則について、原案のとおり可決することに賛成の方は起立をお願いいたします。

(起立全員)

議 長 起立全員であります。

よって、発議第 4 号については、原案のとおり可決することに決定いたしました。

日程第 4 特別委員会の設置

議 長 日程第 4 は、特別委員会の設置であります。

本件を議題としてお諮りいたします。

議案第56号から議案第63号までの計8件の議案は、平成26年度の一般会計を初め各特別会計及び企業会計の歳入歳出決算認定であります。

平成26年度の各会計の歳入歳出決算認定議案につきましては、議長及び宮内監査委員を除く11人の委員をもって構成する決算審査特別委員会を審査終了まで設置したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。
各会計の歳入歳出決算認定につきましては、決算審査特別委員会を設置し、この委員会で審査することに決定をいたしました。
重ねてお諮りをいたします。
ただいま設置されました決算審査特別委員会の委員の選任につきましては、福崎町議会委員会条例第7条の規定により、議長が議会に諮り、指名することとなっております。
よって、議長が指名することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。
それでは、指名をいたします。
3番 牛尾雅一議員
4番 志水正幸議員
5番 松岡秀人議員
6番 城谷英之議員
7番 北山孝彦議員
8番 木村いづみ議員
9番 石野光市議員
10番 小林 博議員
11番 富田昭市議員
12番 釜坂道弘議員
13番 高井國年議員
以上の11名を指名いたします。
ただいま指名いたしました議員11名を決算審査特別委員会委員とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。
よって、ただいま指名をいたしました11名を決算審査特別委員会委員に選任することに決定をいたしました。
なお、特別委員会の委員長及び副委員長については、委員会条例第8条第2項の規定により、委員会において互選することとなっておりますので、委員会において互選をお願いいたします。

日程第5 委員会付託

議 長 日程第5は、委員会付託であります。
それでは、議案第56号から議案第70号までの議案及び請願第2号を、それぞれの委員会に付託をいたします。
議案第56号から議案第63号までは決算審査特別委員会に、議案第64号は民生まちづくり常任委員会に、議案第65号は総務文教常任委員会に、議案第6

6号は民生活づくり常任委員会に、議案第67号は総務文教常任委員会に、議案第68号、議案第69号及び議案第70号並びに請願第2号は民生活づくり常任委員会に、以上のおり付託したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

よって、決算審査特別委員会は8件、総務文教常任委員会は2件、民生活づくり常任委員会は6件、以上16件をそれぞれの委員会に付託いたしますので、よろしく願いをいたします。

以上で、本定例会2日目の日程は全て終了いたしました。

本日はこれをもって散会といたします。お疲れさまでした。

散会 午前11時21分